

光合成細菌
スラリーカット
尿溜・液状厩肥(脱臭・分解)

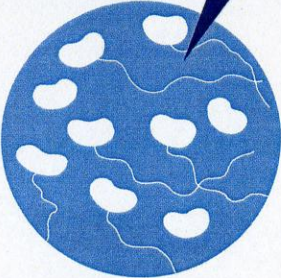
悪臭のないクリーンな環境 生かそう価値ある資源

bio
BBG
糞尿(脱臭・発酵)



●容量/原液18L・キュービテナー(ポリ容器)段ボール入り
補助液500cc

光合成細菌



●ロドシュードモナス
カプシュラータ
(*Rhodospseudomonas capsulata*)



●容量/20L(約10kg)ポリ袋入り

放線菌類



●アクチノマイセス
(*Actinomyces*)
●ストレプトマイセス
(*Streptomyces*)
●サーモアクチノマイセス
(*Thermoactinomyces*)
●サーモモノスポラ
(*Thermomonospora*)

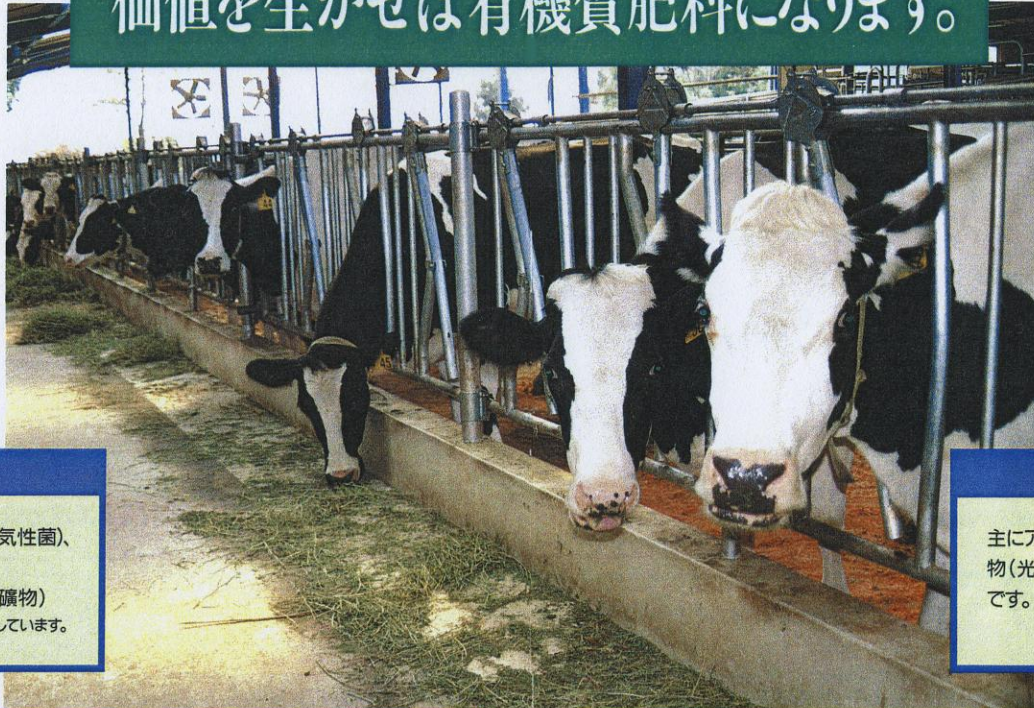
糞尿〈脱臭・発酵〉



好気・嫌気性・条件的嫌気性菌類等の微生物によって悪臭となる原因物質を分解させ、更に塩基吸着材・多孔質礦物によって菌の活性を良くし、悪臭を除去すると共に有機物の発酵・分解を促進させます。

内 容

主な菌類／ストレプトミセス(好気性菌)、アクチノミセス(嫌気性菌)、
ミクロモンスポーラ(条件的嫌気性菌)
脱臭剤／ゼオライト(塩基吸着礦物)、イソライト(多孔質礦物)
*この他に菌を活性化させる為の餌となる脱脂米糠を使用しています。



家畜の糞尿は産業廃棄物として
位置づけられています。
価値を生かせば有機質肥料になります。

スラリー〈脱臭・分解〉



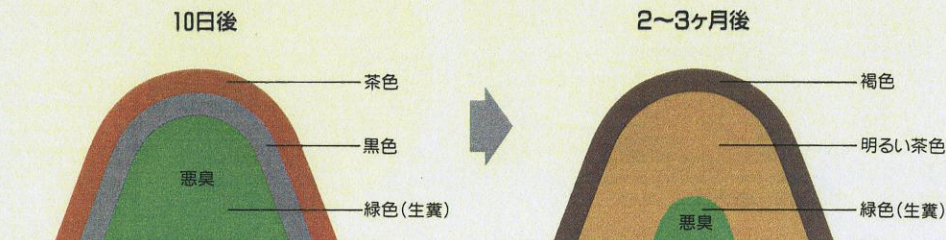
生きた光合成細菌によって、アンモニア・硫化水素等の悪臭物質の根源を急速に除去しスカムを分解させます。又、土壌中でも根圏微生物の増殖につながり、地力アップとなります。

内 容

主にアンモニア・硫化水素と有機物を分解、除去する嫌気性微生物(光合成細菌)と微量元素を混合活性化した液で、人畜には無害です。

使 い 方

- 40~50頭に対して1袋を朝夕2回に分けて糞尿溝又は牛床に散布して下さい。
- 温度、水分により発酵状態が異なりますので環境に応じて施用量を増減して下さい。
- 糞尿溝の尿の流れが悪く、オガクズ・ワラ・モミガラ等の敷材が少なく、水分の多い状態の時には、BBGを使用しながらスラリーカットを1日置きに散布すると脱臭・発酵の効果が更に高くなります。
- 糞乾燥ハウス内にも使用しても脱臭・発酵が促進されます。



使 い 方

- 糞尿貯溜槽には、尿3t(約3m³)に対し原液1ℓを3~5倍に希釈して約10日前に投入攪拌して下さい。

尿 量	原 液	希釈倍率
約15t	5ℓ	3~5倍
約30t	10ℓ	

(1m³:約1t)

- バンクリーナー・自然流下式牛舎は、糞尿溝に1日1回右記の容量を目安にジョウロで散布して下さい。
*原液の1日の使用量は1頭当たり20ccで、30頭で1ケースを1ヵ月使用出来ます。

規模頭数	原 液	倍 率
50頭程度	1,000cc	10倍
30頭程度	600cc	
20頭程度	400cc	

- 補助液は、圃場散布直前に、バキュームタンク又は尿溜槽に、尿3tに対し25ccの割合で10倍程度に希釈し投入攪拌して下さい。

使用時の留意点

- 現存菌の状態によって、効果発生が異なるため、効果発現まで継続投入して下さい。
- 微量元素を使用しているために、脱臭剤原液が沈澱している事がありますので、良く振って使用して下さい。
- 微生物は生きていますので、変色することがありますが、効果は変わりません。
- 保管時は微生物を混合しているため、直射日光を避けて、冷蔵所に保管して下さい。
(※夏場は特に注意して下さい。)
- スラリーカットと補助液を直接混合しないで下さい。